

## 8-4-28 参加型計画専門委員会

### 1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成17年より活動をしている。

#### (1) 委員会の開催

令和3年度の活動は、専門委員会を10回開催、講習会1回、論文発表1回、内部勉強会3回、事例調査1回をWebと集合会議の併用で実施した。主な活動は、下表の通りである。

表1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	活動項目
1	4/20	年度計画の設定とWG取組み内容
2	5/11	勉強会・講習会の開催方針
3	6/15	勉強会・事例調査の実施計画
4	7/13	勉強会・事例調査の内容確認
5	8/17	講習会の方針検討
6	9/14	講習会の実施計画
7	10/12	講習会の内容確認
-	10/21	会津若松スマートシティ勉強会
8	11/16	講習会の役割分担・勉強会確認
-	11/19	論文発表・勉強会(ちゅうるい)
-	12/2	事例調査(出石まちづくり公社)
-	12/3	藤沢スマートシティ現地勉強会
9	12/14	委員会及び講習会の開催
10	1/11	今後の活動の意見交換
-	2/16	幹事会：次年度の活動について

#### (2) 活動概要

多様化する社会変化に対応する市民参加型計画の対応を検討するため、ICTを活用した参加型計画手法の検討、地域組織主体のまちづくり運営の事例調査、新たな都市・地域づくりの参加型計画の事例調査等の取り組みを行った。それらの成果をとりまとめて講習会を開催し

た。また、ホームページを活用した広報活動を積極的に実施し、講習会開催告知や関連情報の発信などを行った。ホームページの閲覧者は45,000ビューを越えた。

事例調査、勉強会、講習会等の個別活動内容は、以下の通りである。

#### a) 新たな都市・地域づくりの内部勉強会

新たな都市づくりの事例として、スマートシティ会津若松、藤沢のスマートシティ(Fujisawa SST)の市民参加の状況を含めた現地視察勉強会を行い、講習会の基礎資料とした。

#### b) SROIに関する論文発表及び現地勉強会

過年度から取り組んできた「北海道シーニックカフェちゅうるい」のSROIの実践的な取り組みを、寒地技術シンポジウム報告論文として投稿し発表した。また、現地活動団体と勉強会を行い、成果確認、今後の活用について協議した。

#### c) 出石まちづくり公社の事例調査

講習会の報告事例とするため、住民が参加して地域経営を実施しているTMOの(株)出石まちづくり公社にヒアリング調査を行った。

#### d) 参加型計画専門委員会講習会

12月に「多様化する社会変化に対応する市民参加型計画のあり方」と題して、まちづくりにおけるICTの活用やスマートシティでの参加の取り組みについて、事例を交えて委員会からの研究報告(中間)として紹介した。また、シビックテックの実践事例として、東健二郎氏(一般社団法人コード・フォー・ジャパン)を招いて講演いただき、テーマについて議論した。Web方式で開催し約100名が参加した。

### 2. 次年度の活動について

新たな都市・地域づくりにおける参加のあり方や、建設コンサルタントの役割、対応すべき参加型技術や連携技術等について、外部との勉強会も開催しながら検討する予定である。

(参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司)